



“ぎまままに”  
川柳

今月のお題

出会い

うぐいすの 出会いもとめて なくこえか 林洋子	もしかして！ 出会いを期待し ダンニャバード 曲がる角	六十過ぎて 山と出会い ガールになった 服部ハツ義	梅の花 やっと出会えた 鶯に 小阪辰夫	何故かしら 出会ってしまうの 限定品 夏みやこ	出会いから 五十年たち ジジとババ チロ	今日もまた 笑顔ひとつで いい出会い ジョージ	苺好き 一期一会は どんな味 ほこべん
----------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	----------------------------------	------------------------------

**■応募方法**  
住所・氏名またはペンネームを明記し、直接または郵送、Eメールで広報広聴係へ。  
〒509-5192（住所不要） ☒ koho@city.toki.lg.jp  
☎ 1111（内線613） / ☎ FAX 7750  
※応募多数の場合は採用されないことがあります。

**5月1日号の投稿募集**  
お題は「新時代」です（1人1句）。  
締め切りは4月24日（水）です。



わたしの  
**ほやねさん**

「ほやねさん」とは…  
つらいときや悩んだとき、そっと寄り添って  
「ほやね、ほやね」と話を聞いて、心を支えてくれる人

店内いっぱい澄んだ歌声が広がり、しばらくうっとりと至福の時を過ごす。シェフ自慢の料理が所狭しと並び、先ほどまで繰り広げられた料理争奪戦がまるでうそのように静かになった。ギターの弾き語りをする女性に全員の視線が集まり耳を傾けている。2曲目、3曲目と曲が流れ、遠い昔を思い出しうっすらと涙する人や一緒に小さく歌を口ずさむ人もいる。店内は心地良い空気で満たされている。

1月終わりの厳冬の夜、ある女子会での出来事です。50歳代から90歳代まで約50人が集い、誰もが笑顔で楽しい時間を過ごしました。

白い息を吐きながら、ホッカホカの気持ちで家路に就きました。帰り道、女子会での楽しい時間を思い返しながら、私はふと気が付きました。すてきな歌声のYさん、お店のシェフ、企画してくれた幹事の皆さんなど、私の周りにはほやねさんがいっぱい!! 何気ない日常に彩りをくれる人たちや、心地よい時間を過ごせたことに感謝しながら、ほやねさんが自分のすぐ近くにいることに気付き、幸せな気分になりました。

あなたのほやねさんも、ほら、すぐ近くに…。

ペンネーム もも（泉町）



## 募集



掲載の「わたしのほやねさん」ストーリーの他、市内に実在する「まちのほやねさん」を募集します。あなたがこれまでに出会ったほやねさんを400字程度の紹介文と一緒にお寄せください。

**■応募方法**  
住所・氏名またはペンネーム・電話番号を明記し、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へ。  
〒509-5192（住所不要） ☒ machisui@city.toki.lg.jp  
☎ 1207 / ☎ FAX 7763

